

# 効果的少子化対策を

## 猪口前特命担当相が講演



少子化対策について話す猪口邦子衆院議員  
高松市玉藻町、県民ホール

共同四国  
共ラ四  
女一四  
男オヤ  
でフ  
松画  
高参

男女共同参画フォーラム(県、県各種女性団体協議会主催)が三日、高松市玉藻町の県民ホールで開かれ、前内閣府特命担当大臣の猪口邦子衆院議員の基調講演やシンポジウムなどを通して、お互いが尊重し合う社会について理解を深めた。

「をテーマに、特命担当大臣時代の取り組みを紹介しながら、実効性の高い支援策について持論を展開した。猪口議員は、まず「少子化」と「男女共同参画」には密接なつながりがあることを指摘。「男性が家庭を顧みずに仕事に没頭して経済が発展しても、社会全体から見れば利点は小さい。ワークとライフのバランスこそが重要」と述べた。

その上で、効果のある少子化対策として▽働く女性だけでなく、専業主婦も含めた支援▽保護者が収入の低い乳幼児期に重点化した経済支援―などの具体案を紹介。「苦

労している若い世代にターゲットを絞り、支援を重点化することが効果的だ」と訴えた。

このほか、大量退職する団塊世代を地域社会へ呼び戻すことの重要性を指摘。「経済成長を支えながら子を育て、さまざま先生役に」とユニークなまな壁を乗り越えた人生プランも提案し、会場を沸かせていた。

# 男女共同参画 必要性を強調

猪口氏招きフォーラム

県など主催の男女共同  
参画フォーラムが3日、  
高松市の県民ホールで開

H19.2.4 朝日

催。前少子化・男女共同  
参画担当の猪口邦子衆  
院議員が基調講演した。

猪口氏は、日本は一人  
間の豊かさ「を示す人間  
開発指数は世界177カ  
国・地域中7位なのに、

女性の政治や経済活動の  
参画度合い(ジェンダー  
・エンパワメント指  
数)は75カ国・地域中42  
位などと説明、参画を進  
める必要性を強調。少子  
化についても経済協力開

発機構(OECD)加盟  
国を分析すると、働く女  
性が多く、男性の家事や  
育児時間が長いほど、出  
生率も高いとのグラフを  
示し、女性の職業支援が  
必要だと訴えた。

## 働き方改革と子育て支援必要

高松で猪口前大臣が講演

男女共同参画フォーラム（県、県各種女性団体協議会主催）が3日、高松市玉藻町の県民ホールで開かれ、猪口邦子・前内閣府特命担当大臣の基調講演やシンポジウムに約980人が参加した。

就任直後の2005年に第2次男女共同参画基本計画を作成した猪口前大臣は、出産に伴う入院費用無料化など国の少子化・男女共同参画対策に力を注いできた経験を語った。また、

男女ともに「女性は子供ができてもずっと仕事を続ける方がいい」と答える人の割合が増えていることから、「継続就労を支えるよ

うな働き方改革と子育て支援の両方が大切」と訴えた。さらに、大学教授として活躍する一方で娘2人を育てた経験から、女性が社会で生き抜くコツを「ひるむな」「ひがむな」「ひっぱるな」とユーモア交じりに話し、「悩んでいる女性は一人じゃない。皆で連携して社会的に解決しましょう」と呼びかけた。

2007年(平成19年) 2月4日 読売新聞